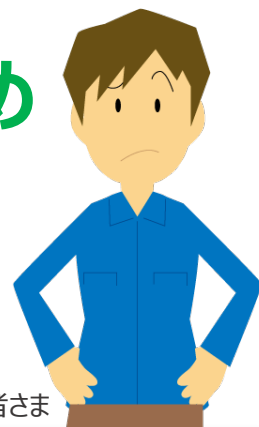


稼働率100%まで、あと10%！ しかし、ほとんどがダンマリ停止のため 異常要因を見つけるのは困難。 効率的に見つける方法とは？



生産技術担当者さま

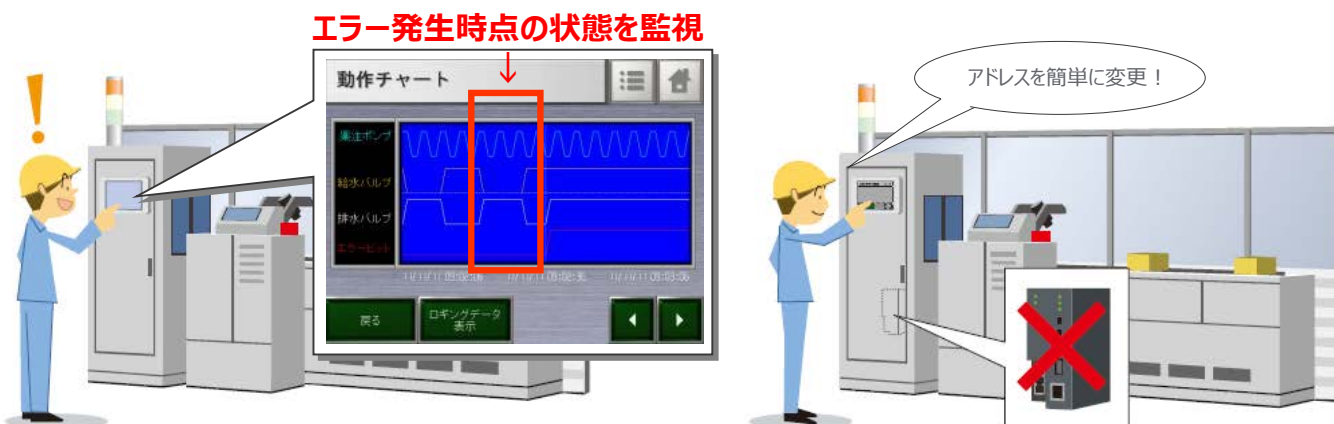
ダンマリ停止の顕在化が必要。しかし、多くの問題が・・・

- 問題①ダンマリ停止を監視するために、装置の前に人を常駐させるだけの余裕がない
- 問題②データロガーは高額＆自社システムにあうかどうか不安だし、データの登録も作業レベルで簡単にできない



表示器に異常解析機能を標準搭載！ 操作の延長上で、ダンマリ停止の顕在化ができる

- ①異常値が発生した時点の動作チャート・操作履歴を表示器のサンプリングデータから、簡単にアクセス可能
- ②計測対象のアドレス設定も画面操作で簡単に変更。異常要因を早期に特定！
しかも、オンライン中にアドレス設定が可能のため、装置を停止せずに設定変更できる



現場レベルで異常要因の特定ができるので、フレキシブルな対応が可能！

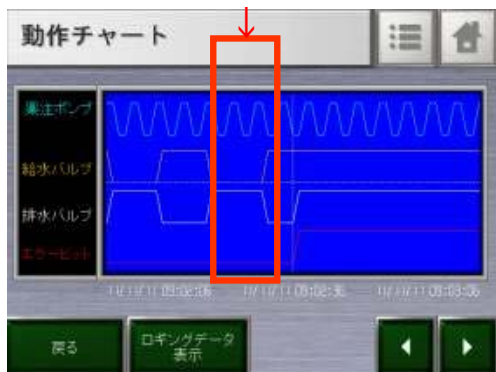
異常解析機能で、すばやく異常要因を特定！

アラームが発生した時の状態を、動作チャート・サンプリング表示・操作履歴からピンポイントで確認できるので、異常要因の早期判明に貢献！



アラームの発報時を基点に各情報を見れば、異常要因をピンポイントで確認できる。

異常要因判明



動作チャート

A装置・本日の作業一覧

date/time	who?	what?	value
2011/11/11/ 10:56:23	ID15668	Bton10 on Scr10	ON
2011/11/11/ 10:30:41	ID23442	Dev D1012	45
2011/11/11/ 10:11:50	ID23442	Dev D1111	1200
2011/11/11/ 9:56:16	ID23442	Dev D1012	45
2011/11/11/ 9:14:14	ID1436	Dev D1012	45
2011/11/11/ 9:13:15	ID23442	Dev D1012	45
2011/11/11/ 8:30:11	ID23442	Dev D0915	1200
2011/11/11/ 7:56:23	ID23442	Dev D1022	ON

操作履歴

ログギングデータ表示

Time	薬注ポンプ	給水バルブ	排水バルブ	水量レベル	巧セト
09:02:30	ON	OFF	ON	5488	OFF
09:02:31	ON	OFF	ON	5437	OFF
09:02:32	OFF	ON	OFF	5474	OFF
09:02:33	OFF	ON	OFF	5509	OFF
09:02:34	ON	ON	OFF	11	OFF
09:02:35	ON	ON	OFF	49	OFF
09:02:36	OFF	ON	OFF	49	ON
09:02:37	OFF	ON	ON	49	ON
09:02:38	ON	ON	ON	49	ON
09:02:39	ON	ON	ON	49	ON
09:02:40	OFF	ON	ON	49	ON
09:02:41	OFF	ON	ON	49	ON

サンプリング

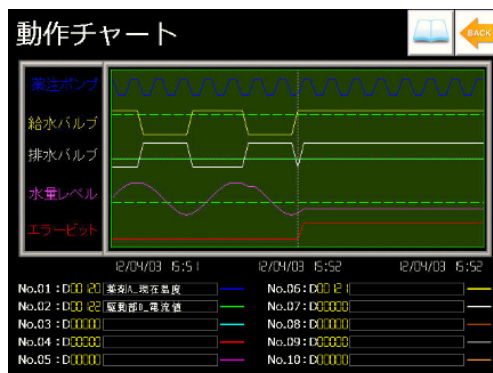
装置稼動中でも、収集アドレスは自由に変更可能！

何の値が問題なのかがはっきりせず、探りながら要因究明する場合でも、あらかじめサンプリングアドレス設定画面を組み込めば、画面上で収集対象アドレスを変更可能！

サンプリングアドレス設定

No.	アドレス	名称	折れ線色
01	D00100	薬剤A_現在温度	—
02	D00102	駆動部B_電流値	—
03	D00104		—
04	D01200		—
05	D01201		—
06	D01202		—
07	D01203		—
08	D02000		—
09	D02010		—
10	D02020		—

アドレスを任意に設定



設定したアドレスを収集

異常解析機能が使えるハードウェアをご紹介します！



GP4000シリーズ



SP5000シリーズ



LT4000Mシリーズ

シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社
(旧：株式会社デジタル)
www.proface.co.jp

東京 東京都港区芝浦2-15-6 オア-ゼ芝浦MJビル
TEL：03-5931-7651 FAX：03-3451-3580

中部 愛知県名古屋市中区泉1-21-27 泉ファーストスクエア7F
TEL：052-961-3701 FAX：052-961-3707

西日本 大阪市中央区北浜4-4-9 シュナイダーエレクトリック大阪ビルディング
TEL：06-6208-3119 FAX：06-6208-3132